

乙亥大相撲（奉納相撲）

乙亥行司、岩井 洋

1. 土俵祭り（土俵開き）

- ①きよ祓いの儀 ②祝詞(のりと)奏上並びに献酒 ③玉串奉奠 ④さいへい
⑤方屋開口故実言上 ⑥しずめもの ⑦御神酒

2. 中三役

呼びだしの後三役揃い踏みで東から 関脇 小結 (西) 小結
大関 大関 大関

に並び右二回左一回の四股を踏ます。行司は徳俵で蹲踞房を左右に祓う
小結、関脇戦の後～ 相撲番数取り進みましたるところ(東)から方屋～
こなた～ この相撲一番にて本日の中入り…とふれる。又、前花が付くとき
は、..なおこの相撲には前花として勸進元より金一封(鬮)を両々の力士
に下さる。勝負の後、塩を持たして六力士を土俵の中に左右三人づつ
並ばす。

	社		社	※ご覧のように飾りましたる御樽二荷
	飯	酒	社(西)	御力飯二荷勸進元より両々の力士
(東)社	酒	飯		にく下さる。
	社		社	○行司は徳俵位置で力士が四股を踏むとき房を左右に祓う。
		行司		○力士は行司口上の後右二回左一回の四股を踏み、御力飯を二人で力水
				相手方の廻りに送り元の位置に戻り礼をしてさがる。

3. 末三役

三役以上は力士を呼び上げる時二回にする（方屋～ こなた～ と呼びあげれるのは中三役と三役以上の
の取り組みのみである。）

小結の勝者には（矢）、関脇の勝者には（弦）、大関の勝者には（弓）
最後大関戦のふれ口上は

○相撲番数取り進みましたるところ、方屋～.. .. こなた～.. ..
この相撲一番にて千秋打ち止め！（一日、二日の興業では千秋 十五日の興業では千秋楽とふれる）
両力士立ち会った後、土俵中央で『待った』を掛け

○ご名人にご名人なりますれば、この勝負（地元）勸進元にお預けし、
明年ここで、とってご覧にいたしまする。

※最後の祝い締め

ア～沖は大漁、陸は満作、風紀繁盛と打ちましようシャンシャンもひとつ
祝ってシャンシャン祝ってシャンでオシャシャのシャンシャン

○追加 土俵の三神（勝利の三神）

天御中主神（あめのみなかぬしのかみ）高御産巢日神（たかみむすびのかみ）神産巢日神（かみむすび
のかみ）の三柱の神を指す。

乙亥大相撲（奉納相撲）

乙亥行司、岩井 洋

1. 土俵祭り（土俵開き）

- ①きよ祓いの儀 ②祝詞（のりと）奏上並びに献酒 ③玉串奉奠 ④さいへい
⑤方屋開口故実言上 ⑥しずめもの ⑦御神酒

2. 中三役

呼びだしの後三役揃い踏みで東から 関脇 小結 (西) 小結
大関 大関 大関

に並び右二回左一回の四股を踏ます。行司は徳俵で蹲踞房を左右に祓う
小結、関脇戦の後～ 相撲番数取り進みましたところ(東)から方屋～
こなた～ この相撲一番にて本日の中入り…とふれる。又、前花が付くとき
は、..なおこの相撲には前花として勸進元より金一封(鬮)を両々の力士
に下さる。 勝負の後、塩を持たして六力士を土俵の中に左右三人づつ
並ばす。

	社		社	※ご覧のように飾りましたる御樽二荷
	飯	酒		御力飯二荷勸進元より両々の力士
(東) 社			社 (西)	にくださる。
	酒	飯		○行司は徳俵位置で力士が四股を踏むとき房を左右に祓う。
社			社	○力士は行司口上の後右二回左一回の四股を踏み、御力飯を二人で力水を
	行司			相手方の稲まりに送り元の位置に戻り礼をしてさがる。

3. 末三役

三役以上は力士を呼び上げる時二回にする（方屋～ こなた～ と呼びあげれるのは中三役と三役以上の取り組みのみである。）

小結の勝者には（矢）、関脇の勝者には（弦）、大関の勝者には（弓）
最後大関戦のふれ口上は

○相撲番数取り進みましたところ、方屋～.. .. こなた～.. ..
この相撲一番にて千秋打ち止め！（一日、二日の興業では千秋 十五日の興業では千秋楽とふれる）
両力士立ち会った後、土俵中央で『待った』を掛け

○ご名人にご名人なりますれば、この勝負（地元）勸進元にお預けし、
明年ここで、とってご覧にいたします。

※最後の祝い締め

ア～沖は大漁、陸は満作、風紀繁盛と打ちましようシャンシャンもひとつ祝ってシャンシャン祝ってシャンでオシャシャのシャンシャン

○追加 土俵の三神（勝利の三神）

天御中主神（あめのみなかぬしのかみ）高御産巢日神（たかみむすびのかみ）神産巢日神（かみむすびのかみ）の三柱の神を指す。